



# グローバル

NO92

こうのす国際交流市民の会

発行責任者 鈴木和子 TEL090-6035-3649

お問い合わせEmail [uchizul318@zaq.ne.jp](mailto:uchizul318@zaq.ne.jp) 発行日2016年11月25日

秋も深まって参りました。朝夕めっきり寒くなりましたね。

おおとりまつり、田間宮学習センターまつりと忙しんでいるうちに、今年もあと一か月ちょっと。寒さに負けず、風邪なども引かず、元気に新年を迎えましょう！！



## お知らせ

### お待たせ 年末パーティー End of Year Party

日時 12月18日(日) 10:30~15:30

場所 北本市野外活動センター(室内ホール)

会費 大人 200円 子ども 無料

美味しいものをお腹いっぱい食べて、歌って、踊って、ゲームして楽しく過ごそう！！

\*なにか一品、お持ちいただけるととても嬉しいで~す。

### 田間宮生涯学習センターまつりに参加しました” (松村 倭子 記)

当会は今年も田間宮生涯学習センターまつりに、バザーと喫茶で参加しました。例年のように多くの方が、いろいろな品物を提供して下さい、売れ行きも好調でした。特に手作りの作品や、大物など値段の高い物も良く売れて、売り上げを押し上げたようでした。喫茶の方は、会員手作りの数種類のケーキが、例年のごとく大々好評で、リピーターの方もたくさんいらっしゃいました。会員以外の方々の応援もあって、時間いっぱい大盛況でした。売上金 67,630円はユニセフへの寄付、会の運営費に使わせていただきます。有難うございました。

### お手伝いの方の感想

T. Mさん いつもとは、全然違う分野のボランティアで新鮮！楽しかった。

H. Mさん 楽しかった！快い疲れ！次はケーキ作り手伝うね。



# 沖縄便り

栄幸子 記



沖縄に来て早や1年以上たちました。みなさんのこと、懐かしく思い出すこともあります。心の余裕がなくてご無沙汰していました。

ここ沖縄はとにかく紫外線が強くて暑い。温度が高い。虫に手足を食われてやたらに痒い。1年の半年が真夏で手足が真っ黒に。5月～10月までは観光客がそこら中いっぱいですが、(特に中国、韓国、台湾など外国の方がいっぱい)。11月～4月はわりと静かになります。近くに海洋博記念公園があって、週に1度は散歩や読書をしに来ます。そこかの東シナ海の眺望は素晴らしく娘の住む水納島がすぐ間近に見えて見飽きません。夏は1歳の男の子の孫の子守りによく呼ばれましたが、可愛いのですが疲れて夏風邪をひいてしまいました。近くに親切なアメリカ人の先生がいて私、息子(ちゅら水族館勤務)水納島の小3の孫の三人が別々の時間にその先生について英語を勉強しています。沖縄の人達はお年寄りに親切で、心が温かく穏やかな人が多いのですが、ていげい(いい加減の意)で、時間には遅れ、その地方の人同士の仲間意識がすごく強いです。でもまあ息子夫婦や時々娘夫婦や孫達、水納島の人達と週に1日は施設の夫の所に行きますが、たいていパスで、私を見ると喜びます。今はまあ夫も私も元気です。お知らせします。



## 病む夫の <sup>つま</sup> パズルに興ず <sup>きょう</sup> 文化の日

\*\*\*\*\*

### ★ 把瑠都さんのこと

外山真澄 記

先日、突然のことだったのですが、私の両親がテレビに出ました。某テレビ局の番組で、ゲストや番組の制作者が日本各地を旅し、訪ねた所にいた人に「あなたのご飯を見せてください」、と頼んで見せてもらうのがメイン。

両親の住む長野県佐久市を訪ねてきたのは元大関の把瑠都さん。彼の出身国エストニアにはサク市があり、そのことが縁で佐久市は10年ほど前から友好都市になっています。今回はエストニア探しの旅だったそうで、把瑠都さんはエストニアに関わる人、知っている人に会いたいと市内を歩きまわり、巡り巡って交流事業に深く関わってきた両親とも会うことになったのだそうです。番組を見ると・・・お昼もとうに過ぎたころ、突然呼ばれて行った所であなたのご飯を、となった母。大きな体の把瑠都さんを軽トラックに乗せて自宅に。畑で把瑠都さんにニラを採ってもらい、自家製のお好み焼きを作って食べてもらっていました。空腹がピークの把瑠都さんは、畑でついでにニンジン抜き、鎌で泥を落としてかじったり、まだ固い洋ナシを採って食べたりも。父は昨年脳梗塞を患い、今は言葉が不自由なのですが、把瑠都さんにお会いし、共に過ごす時間いっぱい、それはそれは、嬉しそうでした。いつ治るともわからない病の何よりの薬になったことが、私は不思議なご縁に感謝の気持ちがいっぱいになりました。



## “おおとりまつり” 街頭パフォーマンスに参加しました！

10月16日(日)“おおとりまつり”、昨年までは市内の各団体さんと共に中山道の“民謡流し”に着物来て参加していたのですが、今年からは各団体、それぞれ中山道の決められた場所で30分のパフォーマンスをすることとなり、私たちの会はフィリッピンの皆さんによる”帽子のダンス”“など色とりどり華やかなダンスを披露しました。衣装を取り寄せ、練習を積み、街頭の皆さんと楽しみました。



練習、頑張ってます



ハイ、ポーズ！



女王さまを囲んでセクシーダンス



帽子のダンス

動画でお見せしたかった！



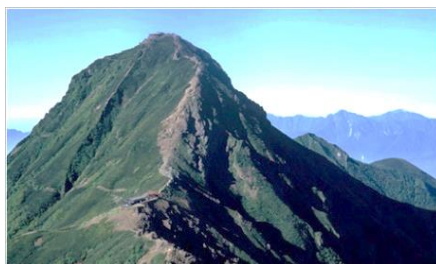
パフォーマーとスタッフ達（黒沢薬局前）

## 旅日記

越田端子 記

NHK で放映中の火野正平さんの“こころ旅”をいつも楽しく見ている。訪れる先々での地元の方々との触れ合いに心温まるものをとでも感じる。旅っていいなと思う。そこで私の“ぶらり旅”を振り返ってみた。

人生の節目の20歳の夏、誘われるままに本格的登山などしたことがなかったのに、キャラバンシューズを履き、重いヶ岳縦走に挑戦した。歩いて歩くなかった荷物もどうにか持ち赤岳、「やったあ〜！」と叫んしめた。夜空に輝く星の美しかくるようよ」と言っていた友の下で“Happy Birthday To You!” と皆が歌ってくれプレゼントつきの誕生日を祝ってくれた。その後硫黄岳、横岳、阿弥陀岳と頑張った。今でも忘れられない誕生日と山登りの達成感を味わった旅である。



リュックを背負って八いて時には放り出した堪えてやっと到着したで登頂の喜びをかみったこと「星が降って言葉を実感した。その



それから月日がたち、還暦を迎えた年の5月と記憶しているが、屋久島出身の方が一週間の旅行を計画してくださりそれに同行した。「一週間に10日雨が降る」と言われるくらい雨の多いところとか、幸い私達が滞在中はとてもよい天気だった。屋久島の象徴でもある縄文杉まで三大杉、ウイルソン株、大王杉と立派な杉を見ながら体面した縄文杉に圧倒され、たたずんだ。90代で縄文杉を見たくてトレイ

ニングをして頑張った女性がいるそうだ。さすがに日帰りは難しく杉の近くにテントを張って一晩過ごしたらしい。植物や生き物が息づく神秘的な白谷雲峡は宮崎駿監督の作品の舞台になった所でもある。そして荘厳な大滝など屋久島の自然を満喫した。またガイドブックには出てない所も案内して下さりとても充実した日々だった。親戚のお宅にまでお邪魔し屋久島の家庭料理をご馳走になった。九州では”つわぶき”を食べると耳にして驚いたことがあるが実際に食べて納得、こちらの”つわぶき”よりずっと柔らかいものだった。屋久杉の素敵な菓子皿を奮発して購入、時々おいしいお菓子を載せて楽しんでいる。親戚の家に椿の木があり、一枝いただき挿し木にしたら思いが通じたのか芽を吹き10年たった現在我が家の庭で元気に成長している。今年もいくつか蕾をつけているので新春が待ち遠しい。屋久島椿は実が赤くてりんごの形に似ているので“りんご椿”とも言われるらしい。思い出深い旅だった。

一番行った所はなんと言っても夫の郷里石川県は小松市である。毎年お盆に帰るのが家族の行事だった。夜行列車を使ったり、東京から米原そして北陸本線で福井を通り小松へ行ったり、またあるときは、特急で大宮～金沢～小松へ向かったり。車でも17号から18号へ、それから8号線、と長い旅を強いられた。その上お盆は混むため夜中に出発が通例だった。長旅なので毎年行く方法を変えるのが一つの楽しみだった。ある年、松本から高山をとおり白川郷へ行き、白山スーパー林道(今は白山白川郷ホワイトロード)を利用した。高山からいくら走っても白川郷までの案内板の距離が変わらず、到着したときは6時

をまわってしまった。5時で通行終了、一泊せねばならなくなり、宿を探したが、お盆の時期でどこも満室。最後の頼みと一軒の民宿のドアをたたいた。やはり満室とのことだったが、当時4歳の娘の姿を見て仏間で良かったらと泊めてくださった。「家族用のですが」と言って冷麦でもてなしてくれた。ありがたかったこと。「今度は予約していらしてくださいね。」と優しい言葉で送り出してくださいました。

それから10年以上たった春先、白川郷を走ったが、その民宿は分からず高山に一泊。有名な朝市を覗き「これから安房峠を越えて埼玉に帰る」と話したら、店の若い女性がびっくりして「とても通れません。それにこの時期は通行止めですよ。」と注意してくれた。知らないとは恐ろしいことだ。予定を変更して中津川から中央高速に乗った。途中でピンクの桃の花が咲き乱れまるで霞のように見えた美しさを目の辺りにして感激。高速道路からみた最高の景観だと今でも思う。その後安房峠もトンネルができ今では通行可能のようだ。

旅にはハプニングがつきもの(?)やはり石川からの帰り道、軽井沢付近だった。猛スピードで走ってくる逆走車に出くわした。左車線にたまたま車が来ていなかったのを避けることができ、事なきを得たが、冷や汗ものだった。義母が亡くなってからは、帰省の折は温泉地に泊まる。山中、片山津、山代、栗津、辰口温泉等、すっかり温泉好きになった。



あんなに苦労して帰っていたが、時が経つと共に高速道路が開発されて今では約5時間で行ける。新幹線も金沢から東京と開通し便利になった。しかし、大変だったが、日本海の海岸線を走る8号線での景観、特に“親知らず、子知らず”の景色を楽しんだのが懐かしく感じるのは贅沢だろうか。

今年は、2年越しで佐賀の有田への旅が実現した。やっと全県ぶらり旅踏破だ。

一つの区切りがついたかなあと思う。

その昔、所要で有田へ出かけた夫から「有田はすごいなあ」と電話がきた。九谷焼の産地で育った彼には九谷とは違った伊万里焼の素晴らしさに感激したらしい。人間国宝の方々の作品もずいぶん鑑賞できたし、いろいろの窯元での仕事ぶりも拝見した。しかし有田の産業もなかなか厳しいと聞いたが、日本の誇れる焼き物、是非頑張っただ窯元の火をともし続けて欲しいと、当地で求めた白磁のカップでコーヒーを飲みながら心から願う。



## ¿Cómo es Colombia?

Un alumno de la clase de español de Konosu trata de hacer una entrevista con su profesora sobre temas cotidianos y su país de origen.

Alumno: ¿Cómo se llama profesora?

Profesora: Mi nombre es Liliana Dueñas de Kato.

A: ¿De dónde viene usted?

P: Yo vengo de Colombia.

A: ¿Hace cuántos años vive en Japón?

P: ¿Hace 17 años. Llegué en agosto de 1999.

A: ¿Dónde está situada Colombia?

P: Está situada en la parte norte de Suramérica, cerca a Panamá y Venezuela.

A: ¿Cómo es Colombia?

P: Es un país con muchas montañas, selvas, muchos climas, dos mares y una gente muy amable.

A: ¿Colombia es llamada la tierra del café?

P: Sí, por supuesto. Gracias a las montañas de los Andes se produce un café muy exquisito para la exportación.

A: ¿También es famosa por muchas mujeres hermosas, no?

P: Sí, hay mujeres muy lindas para todos los gustos.

A: ¿Hay otros productos típicos importantes?

P: Sí, exportamos lindas flores, esmeraldas y banana. Nosotros le llamamos banano.

A: ¿Qué sitios nos sugiere para el turismo?

P: ¿Hay muchos sitios hermosos. Les aconsejo Santa Martha, Cartagena, Medellín, el Eje Cafetero, Bogotá y Cali.

A: ¿Qué plato típico le gusta más de su país?

P: Me encanta el pandebono, las empanadas, las arepas, el sancocho y los tamales.

A: ¿Le gusta la comida japonesa?

P: Sí, me gusta mucho aunque al principio fue difícil acostumbrarme a ella, sobre todo a los palillos. Me gusta el Ramen.

A: ¿Hay alguna cosa especial que le gusta de Japón?

P: Admiro la seguridad, la puntualidad, la limpieza y la honradez.

A: El presidente de Colombia, Juan Manuel Santos, ha recibido el premio Nobel. ¿Cómo se siente?

P: Me siento muy bien porque Colombia se merece la paz y el presidente necesita el apoyo de todos los países del mundo para que la paz se firme muy pronto.

A: ¿Podría darnos un mensaje para nosotros los alumnos que aprendemos español?

P: Los quiero y los admiro muchísimo por el ánimo y la perseverancia que le ponen a las clases, eso me motiva a mi a enseñarles con pasión.



リリアーナさんが語る

## コロンビアってどんなところ？

私の名前はリリアーナ ドゥエニャス デ カトウです。  
コロンビアから来ました。1999年8月に来日、もう17年になります。  
私の国は、南米大陸の北部にあって、パナマとヴェネズエラに接しています。



たくさんの山々があり、ジャングル（熱帯雨林）があって、様々な気候風土があり、二つの海に  
囲まれています。人々は親切ですよ。



コロンビアはコーヒーの国と呼ばれていますが、アンデスの山々のお蔭で大変おいしいコーヒーが作られ、輸出しています。

また、美女が多いということでも有名です。色々なタイプの美しい女性がいます。

代表的な産物は、綺麗な花（切り花）やエメラルド、バナナ等輸出しています。バナナのことはバナノと呼んでます。

観光地のお奨めには素敵な処がたくさんあり、Santa Martha(サンタマルタ)、Cartagena(カルタヘナ)、Medellin(メデジン)、el Eje Cafetero(コーヒー農園)、Bogota、(ボゴタ) それに Cali(カリ)。

私の好きなコロンビア料理は pannde bono (パンデボノ=チーズパン)、empanadas (エンパナダス)、arepa(アレッパ=トウモロコシ粉パン)、sancocho(サンコチヨ=シチュー)、それから tamales(タマーレス=炊き込みご飯)等が好きです。

日本料理も好きです。、最初、慣れるのに苦労しましたがけれど、特に箸にはね。ラーメンも好きです。

日本について、特に好きなことは、安全なこと、時間をよく守ること、清潔なこと、正直なことですね。

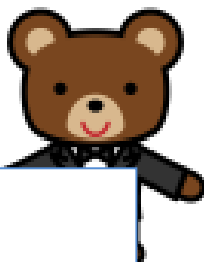
コロンビアの大統領 Juan Manuel Santos(フアン マヌエル サントス)が、ノーベル賞を受賞しました。素晴らしいことです。何故ならコロンビアは平和にならねばならないし、平和が早く実現する為にも世界各国からのサポートを大統領が必要としているからです。

☆ 越智さん、水田さんご協力ありがとうございました。





## 語学クラスの紹介



### ★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）  
午後：7時～9時  
講師：ボランティアの皆さん  
場所：中央公民館  
鴻巣駅から徒歩7分（鴻巣中学校前）  
会費：無料  
学習が大勢になりました。

### ボランティア先生募集

連絡先：鈴木和子 ☎09060353649  
臼田千鶴子☎08066381318

### ★スペイン語クラブ

授業：第1, 3土曜日午後3時～4時:45分  
講師：リリアナ氏（コロンビア出身）  
場所：中央公民館  
会費：1回 500円  
連絡先：田上有三（代表） 08013175579  
学習日 12月 10日、17日

☆世の中、これから益々グローバル化が進んでいきます。  
英語以外の外国語も必要になってきています。  
スペイン語をみんなで仲良く勉強して、  
これからの人生に役立てましょう。  
みなさんの参加をお待ちしています。

### ★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）  
午後 1時30分～3時30分  
講師：ボランティアの皆さん  
場所：市民活動センター  
（鴻巣駅前 アスリエビル 3F  
中央図書館の上です。）  
会費：無料

☆このクラスは子ども中心ですが、大人も学んでいます。子どもは学校の予習、復習、ドリル等を。大人は「日常生活に役立つ日本語」等を学んでいます。

連絡先：鈴木和子090-6035-3649

### 編集後記

臼田千鶴子 記

<スポーツ雑感> パラリンピックがとうに終わり、プロ野球日本シリーズは日ハムの優勝。今年、広島黒田選手、日ハムの大谷クンの活躍は大いに盛り上げてくれた。

私の目下の関心事は、大相撲。綱取り豪栄道、稀勢の里の活躍に期待したのだが、はてさてどうなりますやら。

そして我が浦和レッズ、ここ数年、土壇場でこけてしまう。カップ戦のひとつは苦闘の末、どうやら取れたが、天皇杯は途中でこけ、これから大一番が待っている。今は首位だが、上位3チームで争うクライマックスシリーズ、どうなることかー今からドキドキしている。